

FENWAL

2023 | 12月期 第2四半期 決算説明資料

(2023年1月1日～2023年6月30日)

2023年8月23日

日本フェンオール株式会社

(東証スタンダード: 6870)

Contents

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| はじめに | 2 |
| 1. 2023年 12月期 第2四半期 決算概要 | 5 |
| セグメント別実績 | 8 |
| 2023年上期の主な取組み | 15 |
| 2. 2023年度 通期連結業績見通し | 17 |
| 2023年度 配当・株主還元について | 20 |
| 3. Appendix | 22 |

はじめに

ビジョン

お客様の期待を超える「ものづくり」のベストパートナー

経営基本方針

「基本の徹底」と「変化への挑戦」

- 品質保証体制の強化
- 組織体制の再編整備
- 人材育成と適所適材
- 研究開発体制の強化

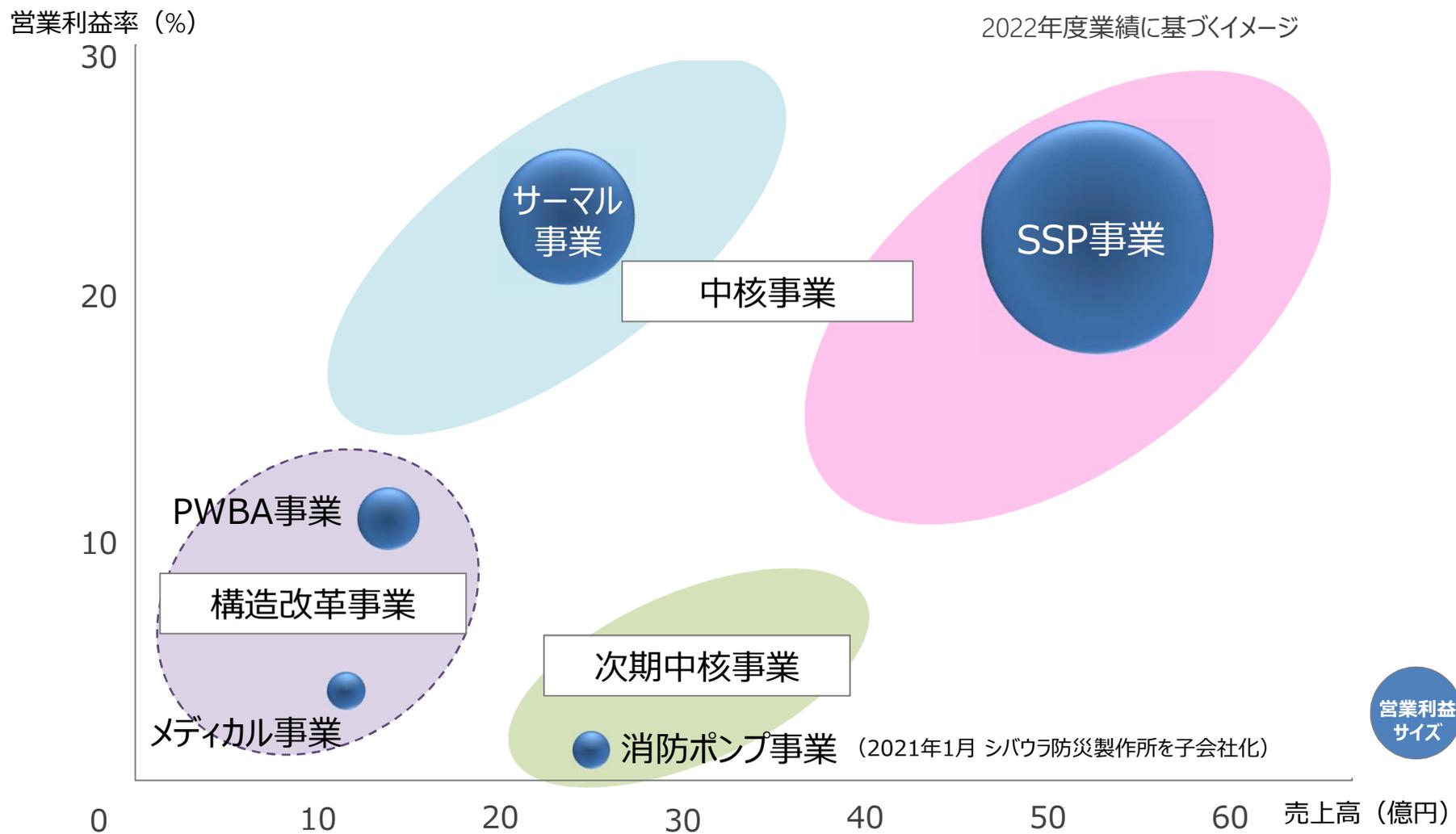
当社の提供価値

私たちは、熱制御をコア技術として、防災、半導体、医療など様々な事業領域において、安心・安全な社会への貢献を果たすことを使命として「ものづくり」に取り組んでおります。



事業ポートフォリオ

FENWAL



1. 2023年12月期 第2四半期 決算概要

2023年度 第2四半期の業績サマリー

FENWAL

前期比 売上高 +10.1% 営業利益 △4.2% 増収減益

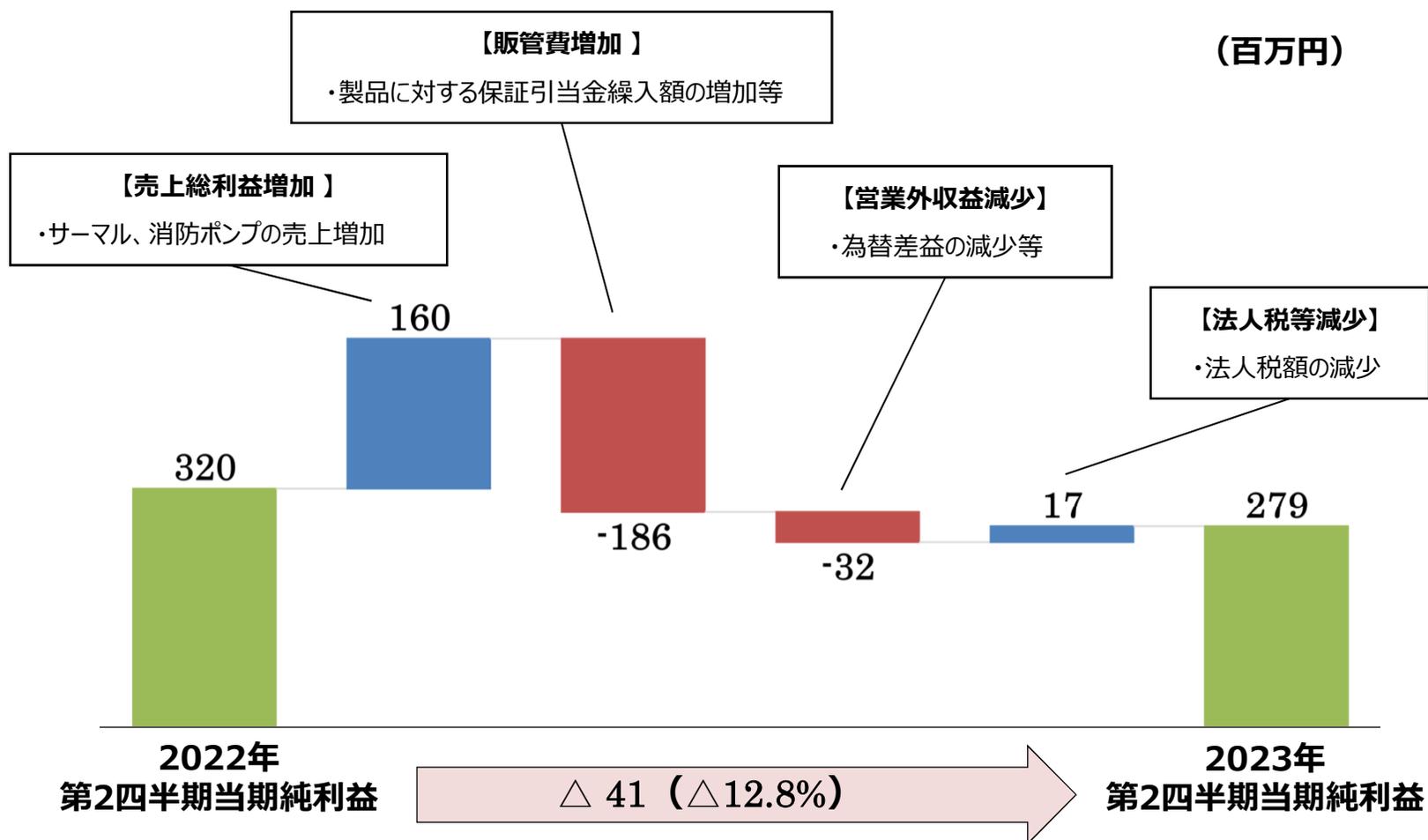
| 業績項目 | 当期実績 | | 前年実績 | | 当期予算 (百万円) | |
|---------------|-------|-------|--------|--------|------------|--|
| | 実績 | 実績 | 前期比 | 予算 | 進捗率 | |
| ■ 受注 | 6,306 | 6,363 | △0.9% | 12,851 | 49.1% | |
| ■ 売上 | 6,486 | 5,891 | 10.1% | 13,039 | 49.7% | |
| ■ 売上総利益 | 2,059 | 1,898 | 8.5% | 4,046 | 50.9% | |
| ■ 販管費 | 1,457 | 1,270 | 14.7% | 2,790 | 52.2% | |
| ■ 営業利益 | 601 | 628 | △4.2% | 1,255 | 47.9% | |
| ■ 営業外損益 | 70 | 102 | △31.4% | 54 | 129.7% | |
| ■ 経常利益 | 671 | 730 | △8.0% | 1,310 | 51.3% | |
| ■ 当期純利益 | 279 | 320 | △12.8% | 712 | 39.3% | |
| ■ 1株当り純利益(円) | 49.92 | 57.34 | △12.9% | 127.09 | — | |
| ■ ROE | 2.3% | 2.7% | △0.4Pt | 6.0% | — | |
| ■ EBITDA マージン | 11.7% | 13.5% | △1.8Pt | 12.3% | — | |

- 売上高は、消防ポンプ部門で出荷台数が大きく伸長したことから増収
- 営業利益は、販管費に不具合対応として122百万円を計上したことにより減益

※ 予算は、2023年2月10日に開示しました通期業績予想の数値です

前期比 当期純利益増減要因

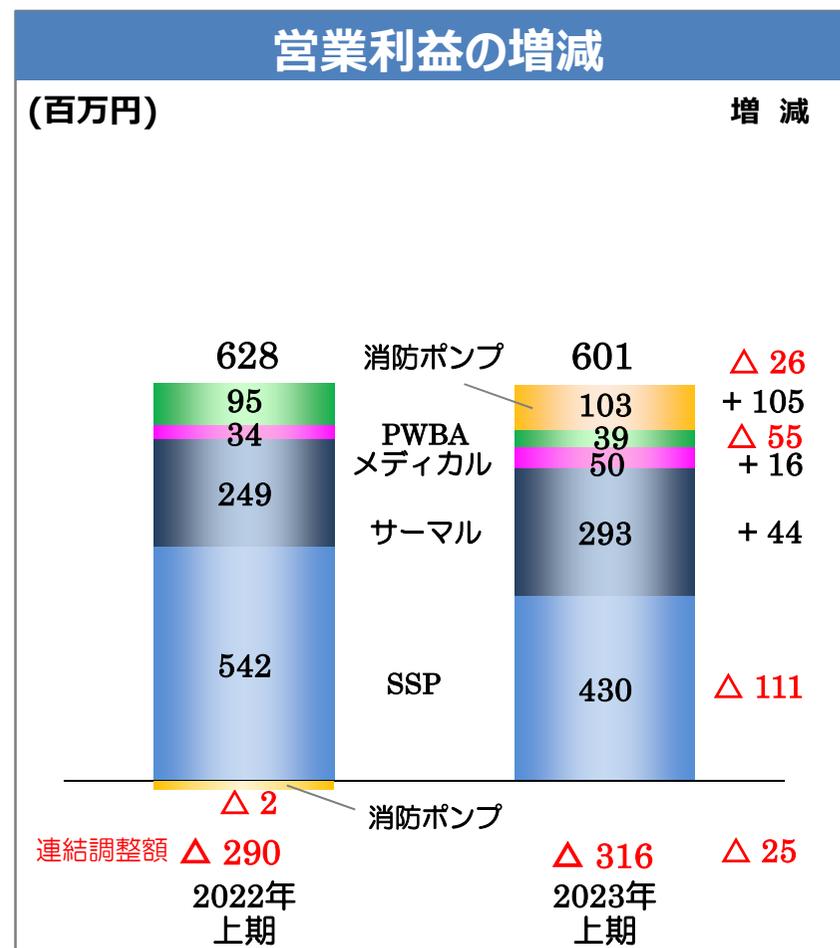
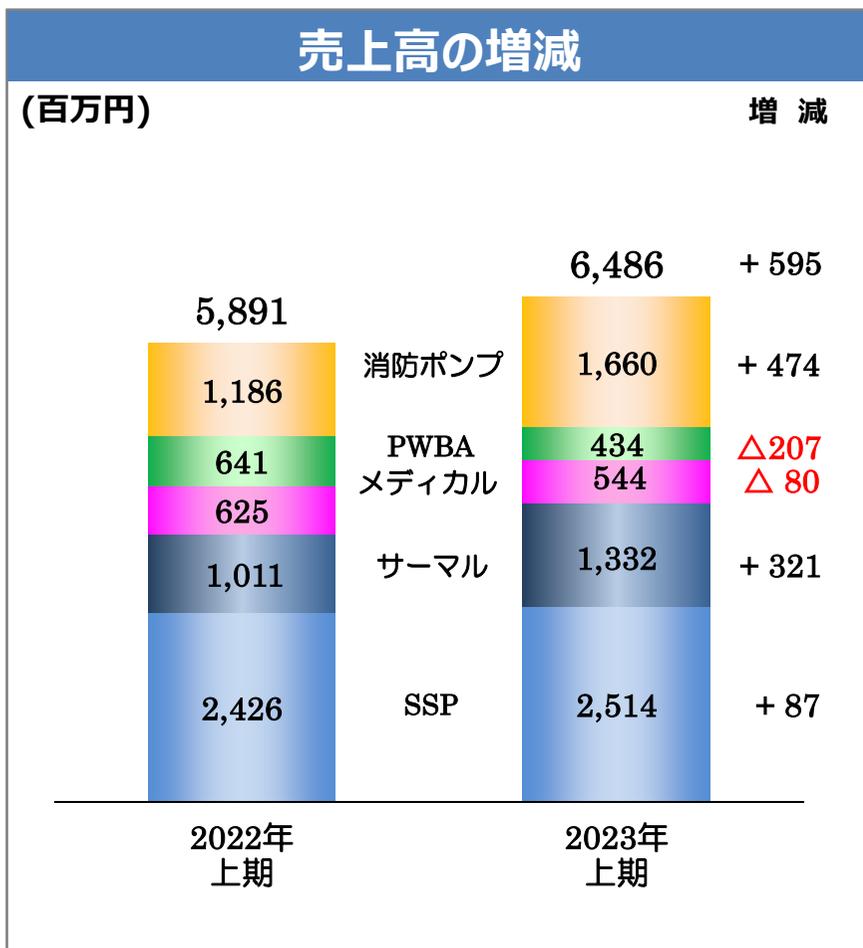
FENWAL



セグメント別実績

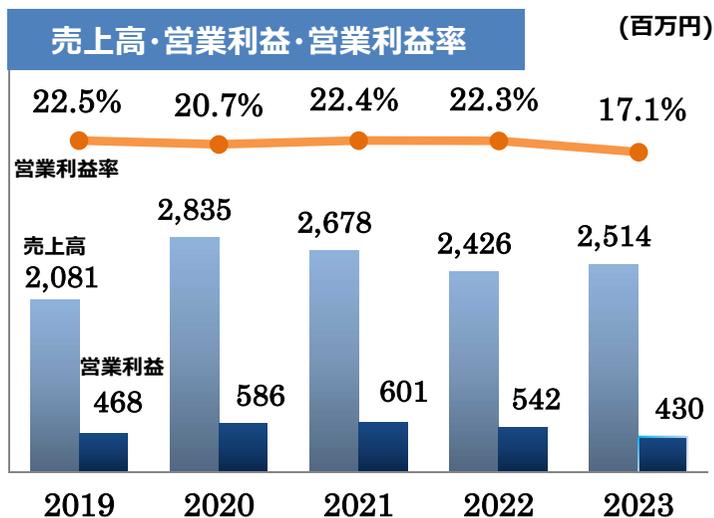
セグメント別増減明細

FENWAL



セグメント別売上高・営業利益 SSP

FENWAL

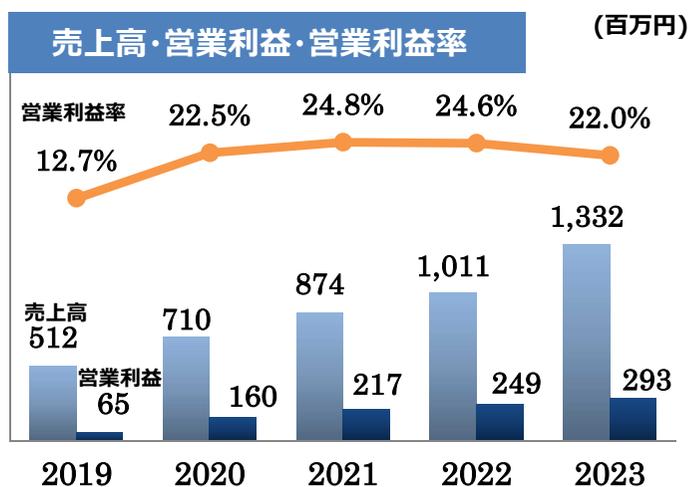


前期比、売上高3.6%増、営業利益20.6%減と増収・減益

- ・電力等基幹産業向けの警報・消火設備等の改修工事は堅調に推移
- ・販売管理費に不具合対応として122百万円を計上したことにより減益
- ・引き続き不具合製品の交換対応に注力し、お客様の信頼回復を推進

セグメント別売上高・営業利益 サーマル

FENWAL



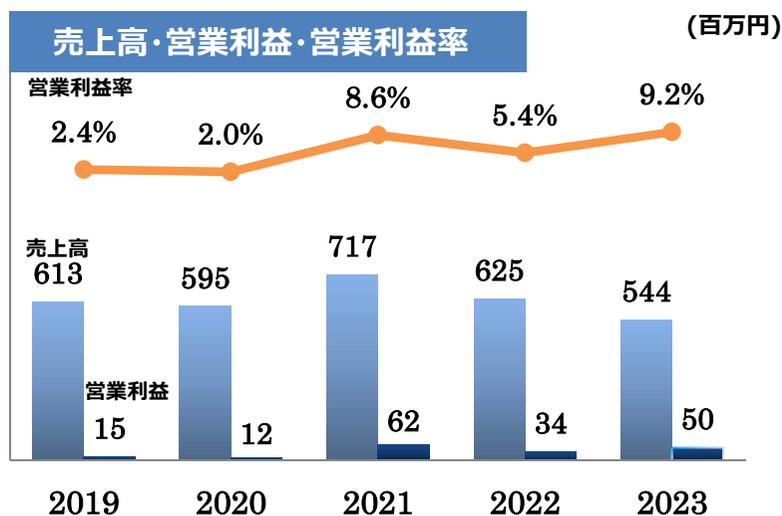
前期比、売上高31.7%増、営業利益17.9%増と増収・増益

- ・ 主力製品である半導体製造装置向け熱板及びセンサーの受注は減少したが、売上は堅調に推移
- ・ 原材料の高騰に伴い利益率は減少
- ・ 製品別では、サーモスイッチ（その他）が前期から当期へ納期遅れにより売上増加

セグメント別売上高・営業利益 メディカル・PWBA

FENWAL

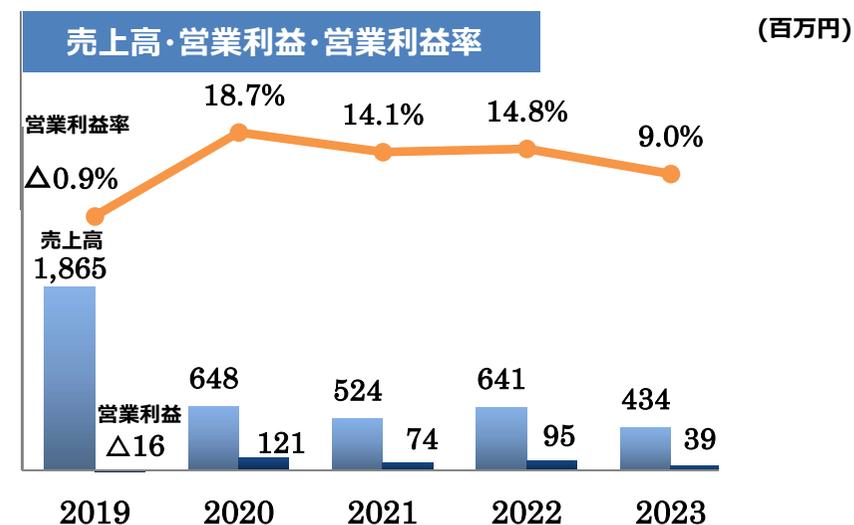
メディカル部門



前期比、売上高12.9 %減、営業利益47.2 %増

- ・透析装置需要の回復の遅れによる減少により減収
- ・組織再編による販管費等の減少により増益

PWBA部門

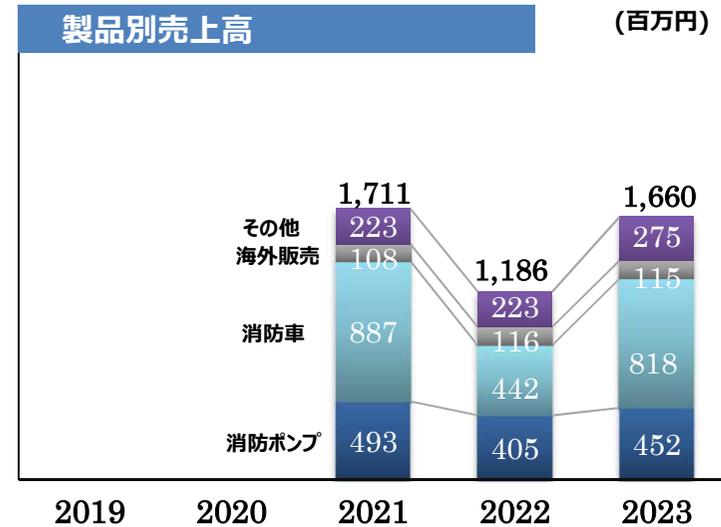
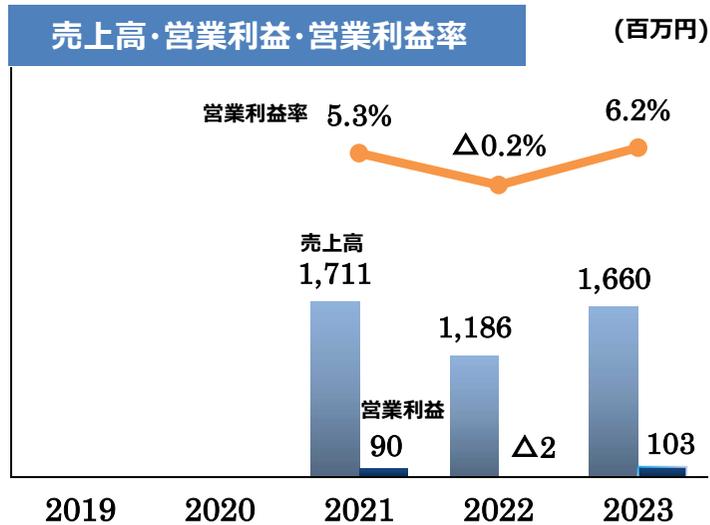


前期比、売上高32.4 %減、営業利益58.4 %減

- ・事務機器および産業機器向け売上は、客先の在庫調整等により減少

セグメント別売上高・営業利益 消防ポンプ

FENWAL



※2021年1月にシバウラ防災製作所を買収し連結子会社化。

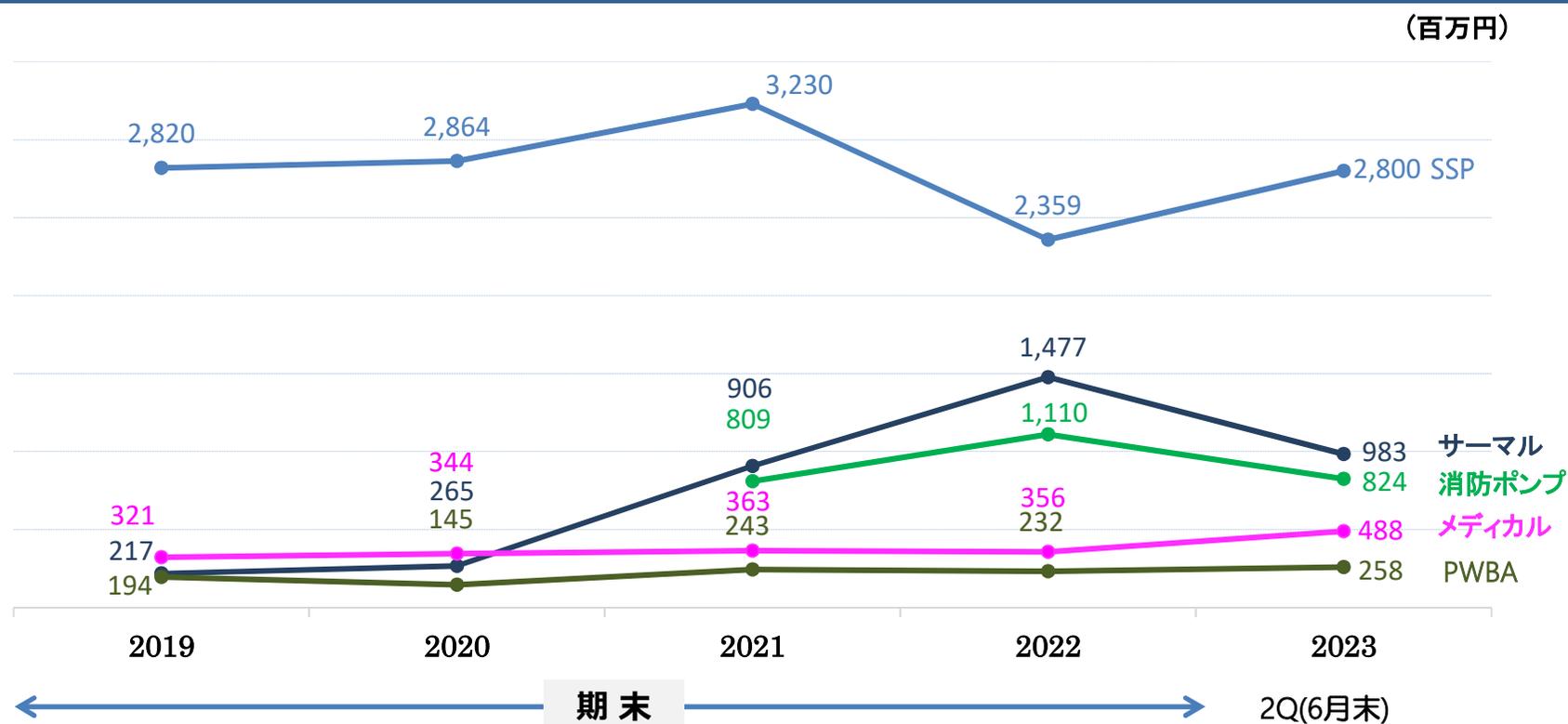
前期比、売上高40%増、営業利益は105百万円 増と増収増益

- ・国内向けの消防車及び消防ポンプの販売台数が伸長した為増加
- ・海外では中国・韓国向け消防ポンプが引き続き堅調に推移
- ・中国では、ゼロコロナ政策終了に伴い入札案件も増加傾向

セグメント別受注残高推移

FENWAL

- ・ SSPは、特定顧客向け大型工事案件の獲得により増加
- ・ サーマルは、半導体製造装置市場への投資の落ち着きにより減少



2023年度における主な取組み

2023年上期における主な取組み

FENWAL

| 「新中期経営計画へ向けての取組み」 2023年2月決算説明会より | | 2023年上期の主な取組み 【基本の徹底】と【変化への挑戦】に向けた取組み |
|-------------------------------------|---|---|
| ① | 【風土・意識改革】 ・ 目標の共有、位置ズレの矯正、人財育成ほか | 【人財育成】 ・ マネジメント教育、コンプライアンス教育 ・ 新卒・中途採用者教育、階層別教育 ・ 情報セキュリティ教育 |
| ② | 【市場で戦える企業へ】 ・ 組織再編、機能強化、明確な役割定義の設定 ほか | 【組織再編】 ・ (品質) 品質保証・品質管理機能の統合により品質管理体制を強化 ・ (営業) 機器販売のクロスセールス体制へ変更 ・ (開発) 開発組織の新設による開発力を強化 ・ (生産) 生産部門集約による効率的な生産管理 |
| ③ | 【メーカーとしての力を取り戻す】 ・ 開発投資、品質管理体制の強化 ほか | |
| ④ | 【潜在ニーズの発掘】 ・ マーケティング機能の強化、営業手法の拡大 ほか | 【営業手法の拡大】 ・ クロスセールス体制(事業別営業を統合) ・ インサイドセールス導入(潜在ニーズの発掘) |
| ⑤ | 【収益構造を根本から見直す】 ・ 事業性評価、リスクの排除 ほか | 【収益性評価】 ・ 事業性評価を実施中 ・ 事業の成長ポテンシャル把握 ・ 持続的成長へ向けて戦略の策定 |

2. 2023年度 通期連結業績見通し

2023年12月期 連結計画サマリー (増収減益)

FENWAL

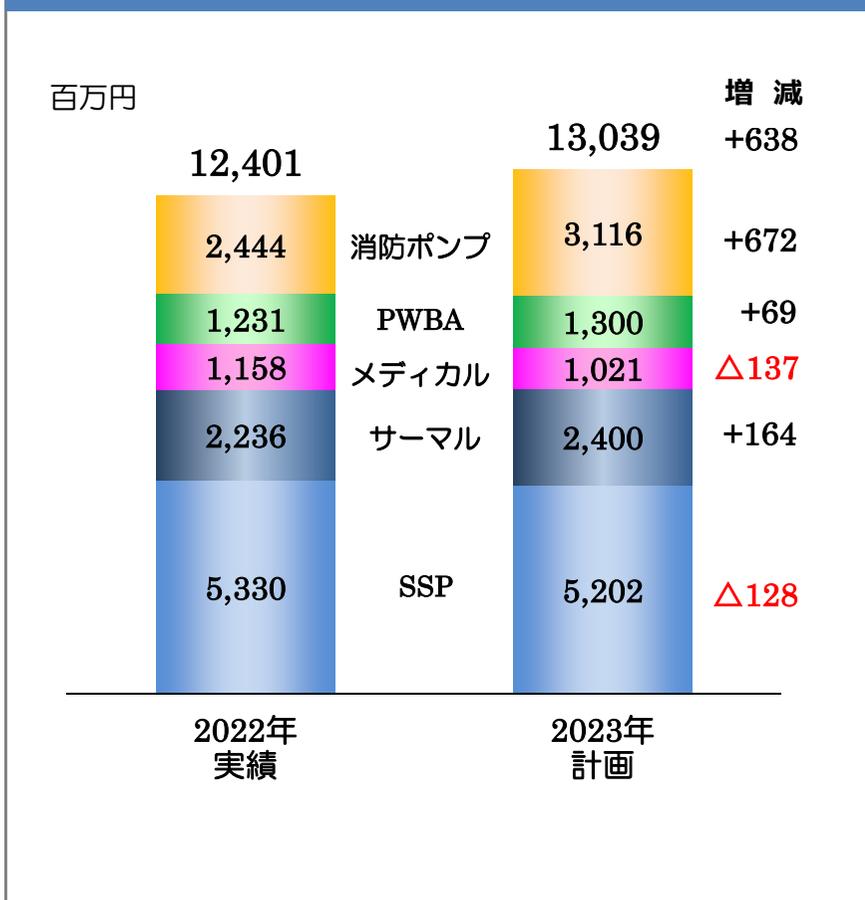
売上は堅調に推移するものの、原材料価格高騰等により増収減益

| 計画項目 | | 前期比 (百万円) | |
|---------------|------------|------------|--------|
| 項目 | 2023 予想 | 2022 実績 | 増減率 |
| ■ 売上 | 13,039 | 12,401 | 5.1% |
| ■ 売上総利益 | 4,046 | 4,045 | 0.0% |
| ■ 販管費 | 2,790 | 2,735 | 2.0% |
| ■ 営業利益 | 1,255 | 1,310 | △4.2% |
| ■ 営業外損益 | 54 | 168 | △67.7% |
| ■ 経常利益 | 1,310 | 1,479 | △11.4% |
| ■ 当期純利益 | 712 | 826 | △13.8% |
| ■ 1株当り純利益(円) | 127.09 | 147.62 | △13.9% |
| ■ ROE | 6.0% | 6.8% | △0.8Pt |
| ■ EBITDA マージン | 12.3% | 13.4% | △1.1Pt |

セグメント別増減明細

FENWAL

売上高の増減



【増収予想】 (前期比 +5.1%)

- SSP
基幹産業及び特殊環境設備向け防災設備の需要の取り込み
- サーマル
半導体製造向けセンサー、熱板の拡販と制御機器の応用製品の取り込み
- メディカル
新型透析装置の機能改善およびソフトウェアの開発を推進
- PWBA
新たな実装需要を取り込むための顧客開拓を推進
- 消防ポンプ
国内：代理店と連携した販売体制を強化
海外：有望代理店の開拓と育成に注力

2023年度 配当・株主還元について

配当・株主還元方針

配当方針

- ・ 企業価値の向上のための積極的な投資を実施しつつ、安定的な配当を継続するためにDOE指標を採用する。

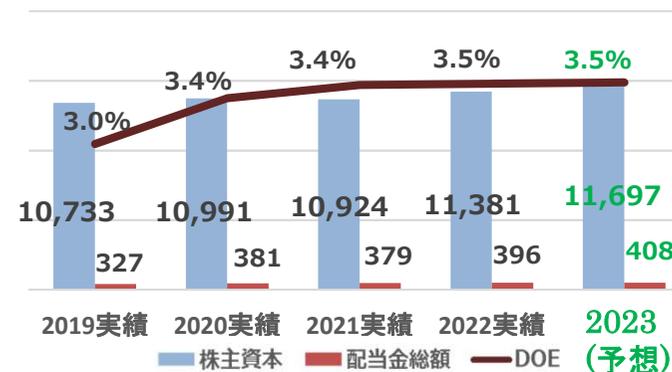
DOE 3.5 % 程度を目安

- ・ 株価水準、キャッシュフロー等を勘案し、自己株式取得による株主還元についても、機動的に対応する。

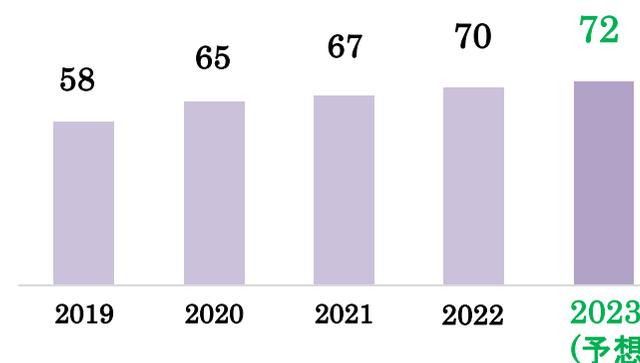
DOE3.5% : ROE 7.0% × 配当性向50%

| 年度 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 予想 |
|----------------|------|------|------|------|------------|
| 当期純利益 (百万円) | 526 | 585 | 387 | 826 | 712 |
| 配当性向(%) | 64.6 | 62.7 | 97.6 | 47.4 | 56.6 |
| DOE(%) | — | 3.38 | 3.47 | 3.48 | 3.48 |

DOE推移 (百万円)



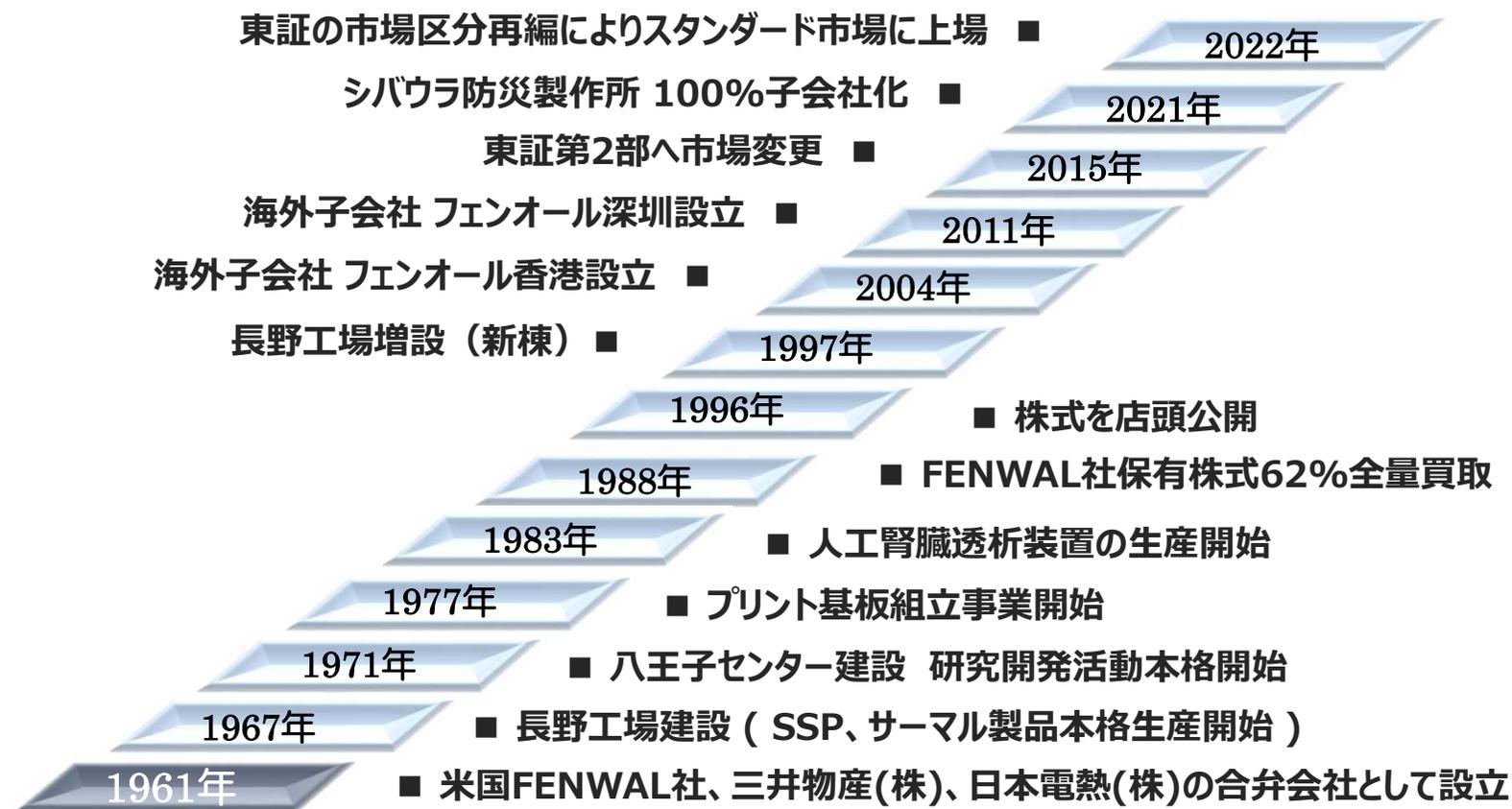
1 株当たりの配当金推移 (円)



3. Appendix

会社概要

| | |
|-----------|---|
| 会 社 名 | 日本フェンオール株式会社 |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 中野 誉将 |
| 設 立 日 | 1961年5月24日 |
| 上 場 市 場 | 1996年 店頭登録、2015年 東証第2部へ市場変更、2022年 東証スタンダード市場 |
| 資 本 金 | 996,600,000円 |
| 従 業 員 数 | 273名（連結）（2022年12月末現在） |
| 本 社 所 在 地 | 東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号 |
| 事 業 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・SSP（防災機器） ・サーマル（温度制御機器） ・メディカル（人工腎臓透析装置） ・PWBA（プリント基板実装） ・消防ポンプ（子会社） |
| 大 株 主 | <ul style="list-style-type: none"> ・THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD ・株式会社三井住友銀行 ・株式会社八十二銀行 |
| 取 引 銀 行 | <ul style="list-style-type: none"> ・三井住友銀行 ・八十二銀行 ・三井住友信託銀行 ・三菱UFJ銀行 |
| 関 連 子 会 社 | 国内：株式会社シバウラ防災製作所 海外：・日本芬翁（香港）有限公司 ・深圳芬翁信息咨询有限公司 |



事業内容

SSP部門

火災警報システム、消火システム、爆発抑制システム、高感度煙検知システム、過熱警報システム等の開発・製造・販売および同システムの設計・施行・保守およびエンジニアリングサービス

サーマル部門

温度調節器、半導体・製造装置用熱板および装置、高温炉用熱電対、その他制御機器等の開発・製造・販売および同システムの設計・サービス

メディカル部門

人工腎臓透析装置および医療機器の開発・設計・製造・サービス

PWBA部門

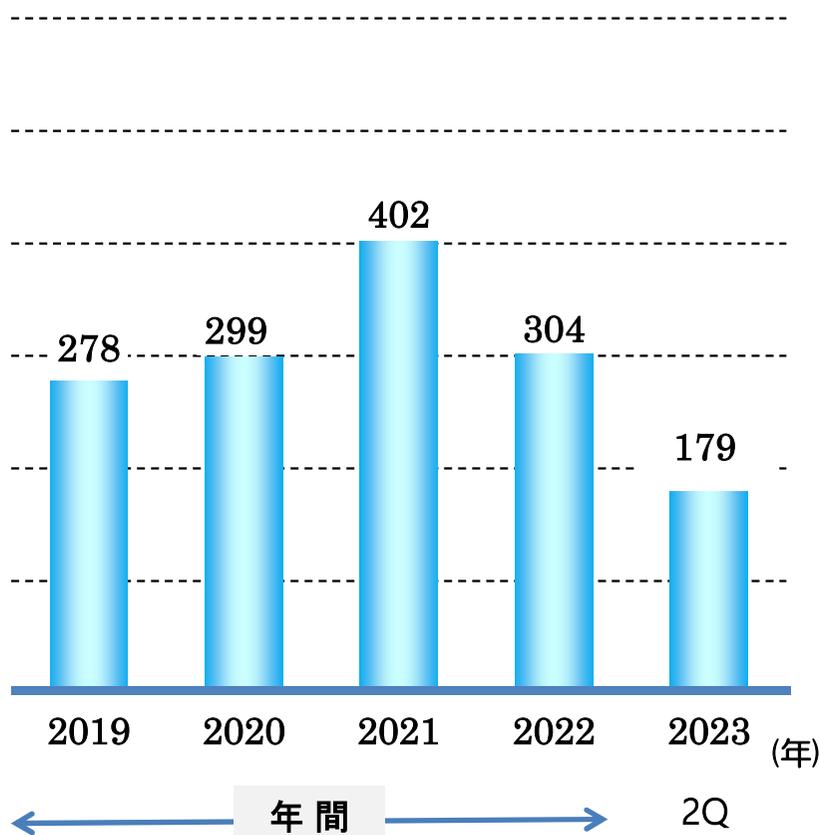
ア트워크設計、ノイズ対策、プリント基板の実装組立

消防ポンプ部門

消防ポンプ、浄水機、その他防災機器の開発・製造・販売

研究開発費

(百万円)

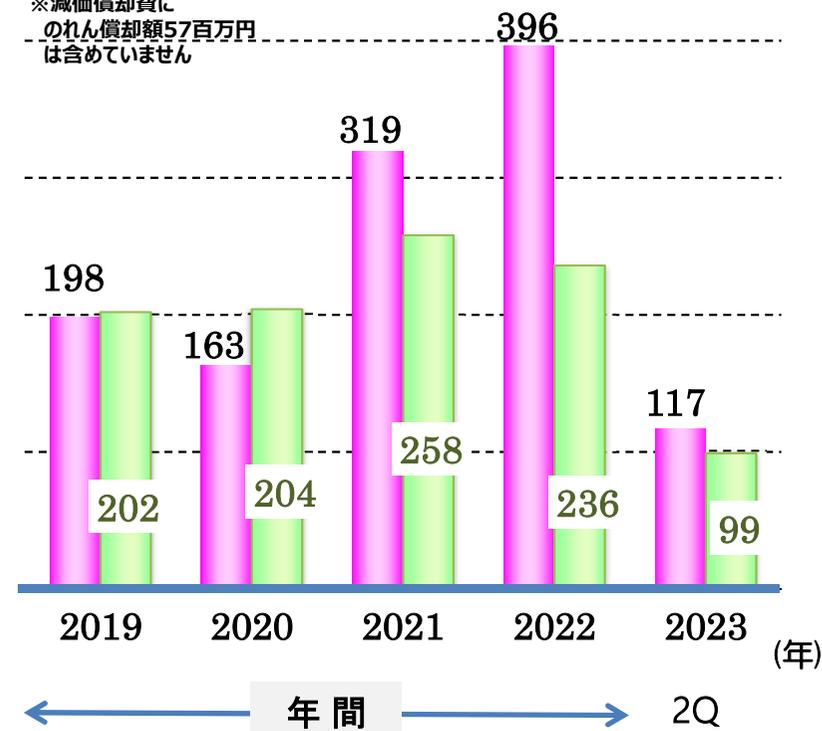


設備投資・減価償却費

(百万円)

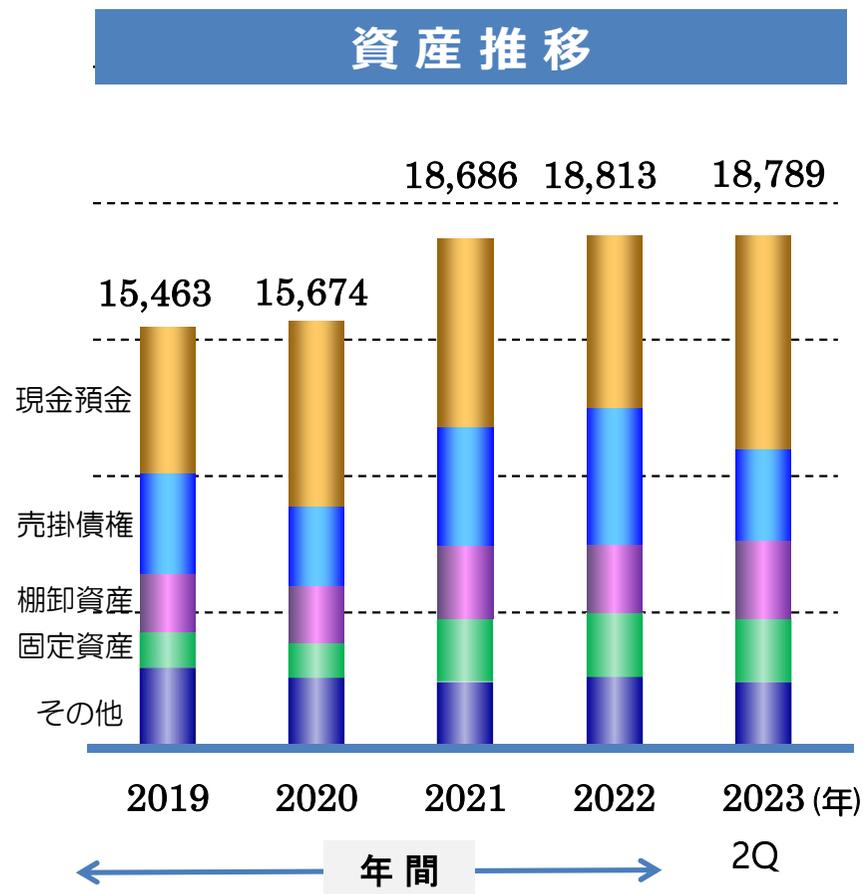
- 設備投資
- 減価償却費

※減価償却費に
のれん償却額57百万円
は含めていません



2023年度 連結貸借対照表(資産の部)

FENWAL



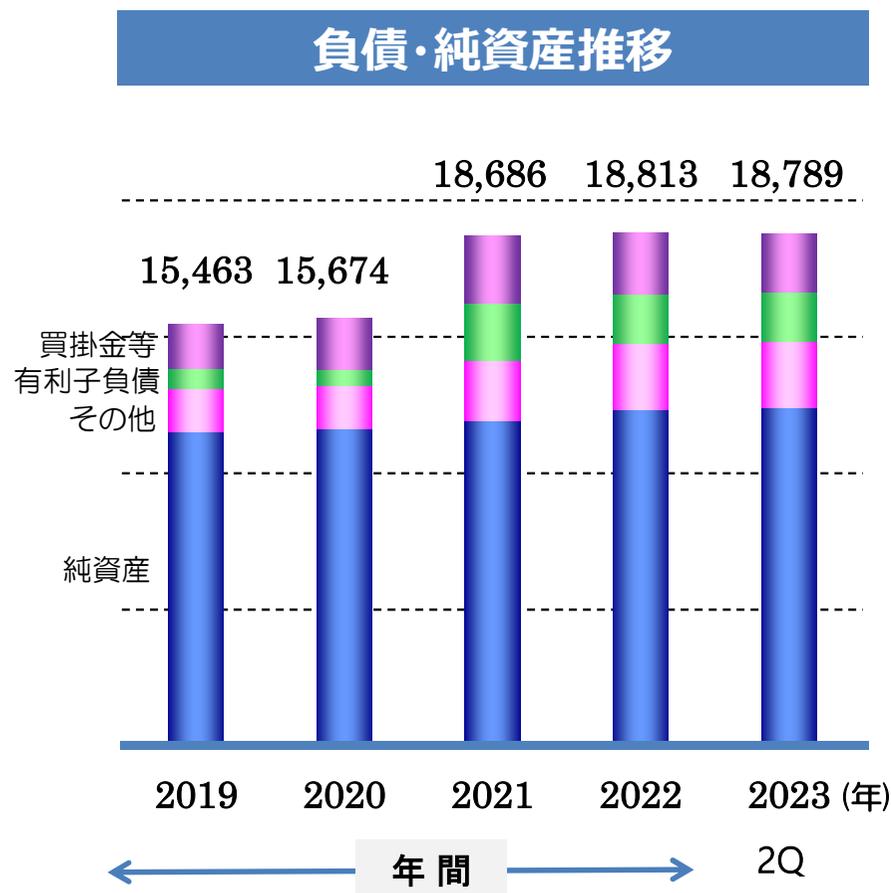
増減内容

(百万円)

| 項目 | 当期 | 前年度末 | 増減率 |
|------|--------|--------|--------|
| 現金預金 | 7,787 | 6,316 | 23.3% |
| 売掛債権 | 3,364 | 5,023 | △33.0% |
| 棚卸資産 | 2,888 | 2,496 | 15.7% |
| 固定資産 | 2,310 | 2,350 | △1.7% |
| その他 | 2,438 | 2,626 | △7.2% |
| 合計 | 18,789 | 18,813 | △0.1% |

2023年度 連結貸借対照表(負債・純資産の部)

FENWAL



増減内容

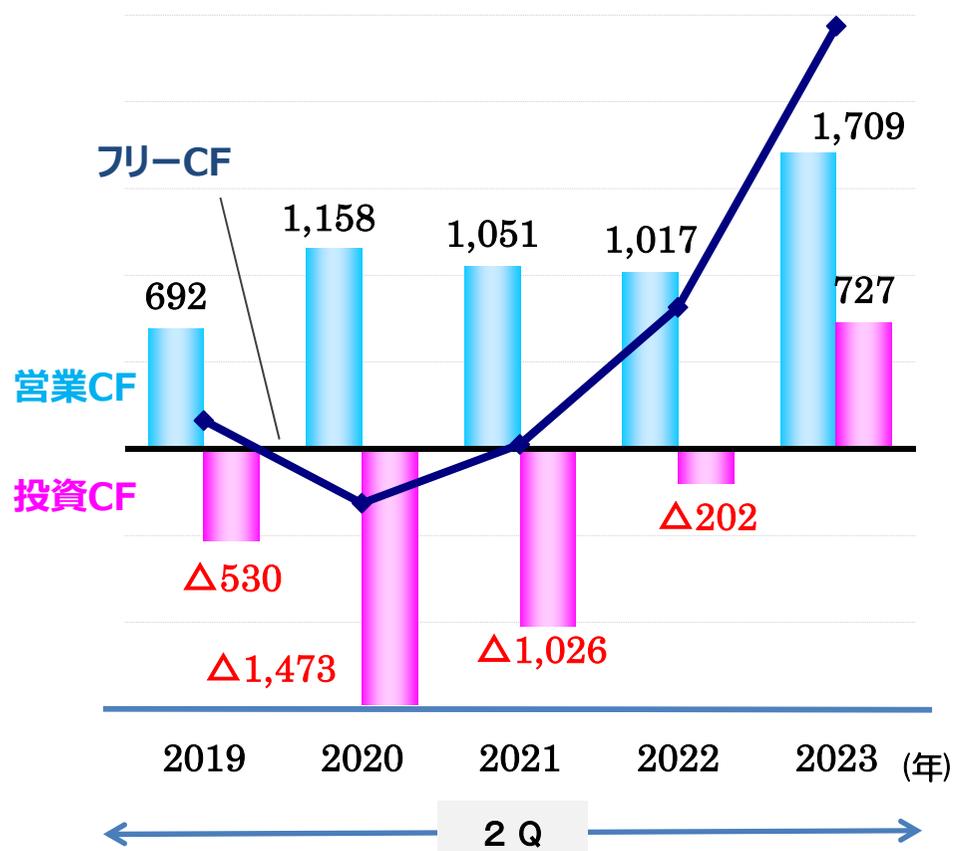
(百万円)

| 項目 | 当期 | 前年度末 | 増減率 |
|-------|--------|--------|-------|
| 買掛金等 | 2,151 | 2,269 | △5.2% |
| 有利子負債 | 1,784 | 1,782 | 0.1% |
| その他 | 2,449 | 2,449 | 0.0% |
| 純資産 | 12,404 | 12,312 | 0.7% |
| 合計 | 18,789 | 18,813 | △0.1% |

2023年度 キャッシュ・フロー計算書

FENWAL

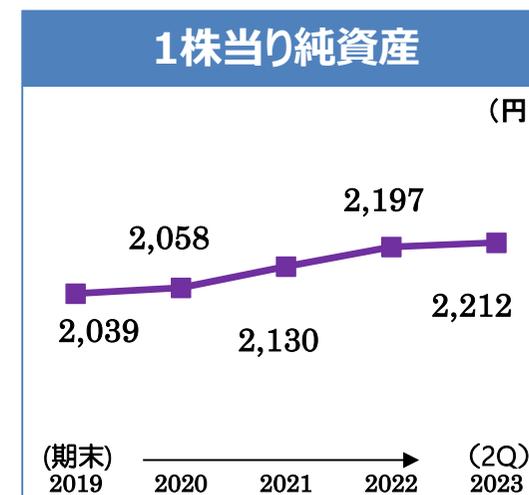
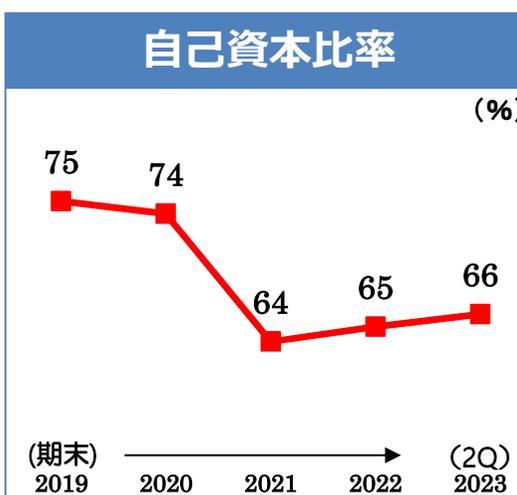
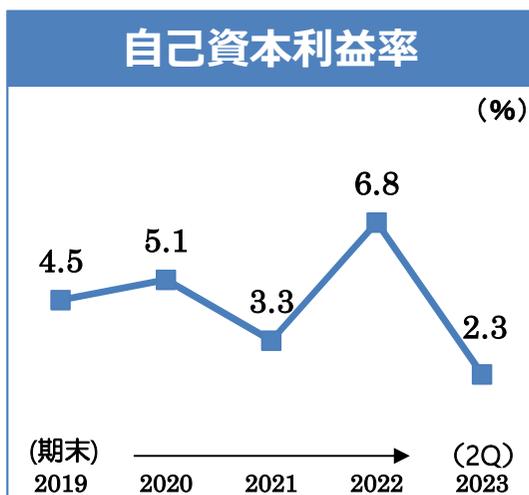
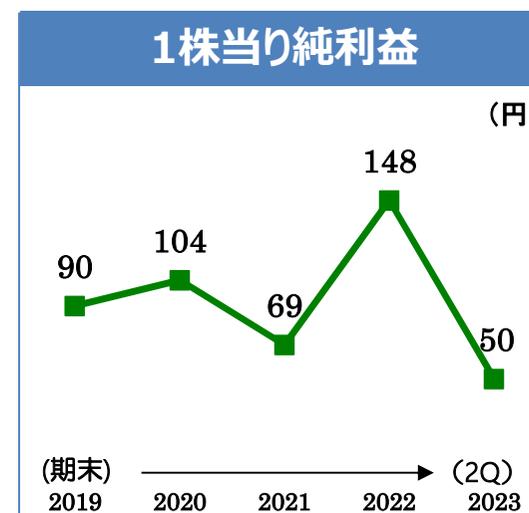
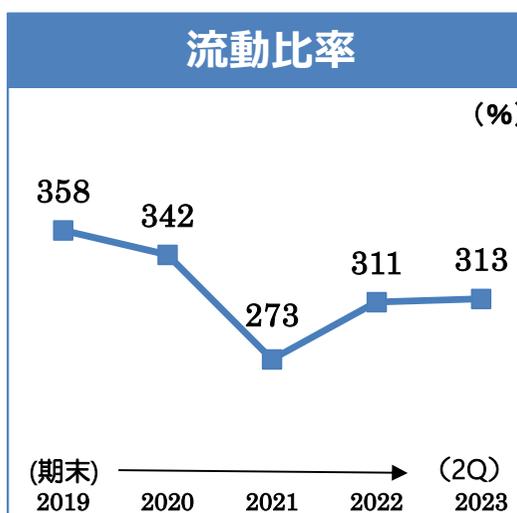
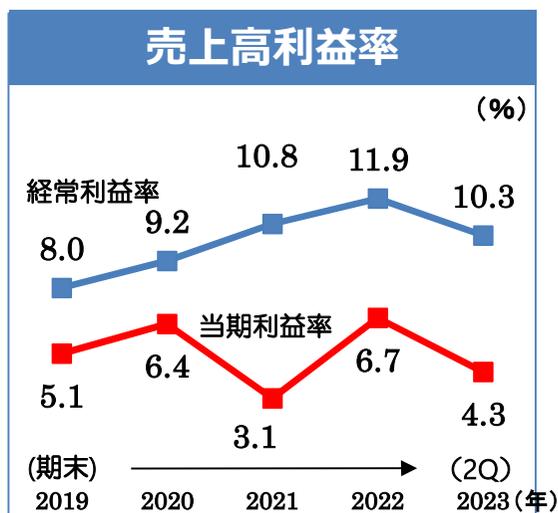
キャッシュ・フロー推移



増減内容

(百万円)

| 項目 | 当期 | 前期 | 増減率 |
|-------|-------|-------|--------|
| 営業CF | 1,709 | 1,017 | 68.0% |
| 投資CF | 727 | △202 | — |
| 財務CF | △394 | △399 | △1.3% |
| 換算差額 | 66 | 87 | △24.1% |
| 合計 | 2,109 | 502 | 320.1% |
| 期首残高 | 5,387 | 5,740 | △6.1% |
| 期末残高 | 7,497 | 6,242 | 20.1% |
| フリーCF | 2,436 | 815 | 198.9% |



■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。

■ お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社

執行役員 管理本部長 中島 昭

E-mail : akira.nakashima@fenwal.co.jp

住 所 : 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電 話 : 03-3237-3561
